

# 月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	保育事業収益	92,031,770	87,359,002	4,672,768
	委託費収益	80,084,820	70,206,210	9,878,610
	基本分単価	54,412,830	46,544,000	7,868,830
	処遇改善等加算	9,651,430	8,214,270	1,437,160
	3歳児配置改善加算	546,860	1,101,360	△ 554,500
	3歳児配置改善処遇改善等加算	98,420	207,480	△ 109,060
	主任保育士専任加算	3,682,190	3,656,910	25,280
	療育支援加算	470,580	471,540	△ 960
	事務職員雇上加算	653,080	655,110	△ 2,030
	冷暖房費加算	74,250	69,630	4,620
	小学校接続加算	96,760	96,460	300
	チーム保育推進加算	4,988,250	4,468,980	519,270
	チーム保育推進処遇改善等加算	897,750	841,890	55,860
	処遇改善等加算II	1,907,610	2,492,280	△ 584,670
	副食費徴収免除加算	488,800	400,500	88,300
	処遇改善等加算III	2,116,010	985,800	1,130,210
	利用者等利用料収益	1,550,250	1,552,375	△ 2,125
	利用者等利用料収益(一般)	1,550,250	1,552,375	△ 2,125
	私的契約利用料収益	179,250	191,267	△ 12,017
	その他の事業収益	10,217,450	15,409,150	△ 5,191,700
補助金事業収益(公費)	10,149,720	14,997,350	△ 4,847,630	
補助金事業収益(一般)	67,730	411,800	△ 344,070	
その他の収益	317,700	346,100	△ 28,400	
その他の収益	317,700	346,100	△ 28,400	
サービス活動収益計(1)		92,349,470	87,705,102	4,644,368

月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	費用			
	人件費	80,720,240	80,009,490	710,750
	職員給料	43,978,658	42,983,441	995,217
	職員俸給	27,219,600	27,050,400	169,200
	職員諸手当	16,759,058	15,933,041	826,017
	職員賞与	7,395,700	7,123,731	271,969
	賞与引当金繰入	4,880,000	4,630,000	250,000
	非常勤職員給与	15,296,256	16,225,777	△ 929,521
	退職給付費用	816,200	792,900	23,300
	退職給付引当金繰入	193,200	179,400	13,800
	退職給付費用	623,000	613,500	9,500
	法定福利費	8,353,426	8,253,641	99,785
	事業費	7,891,905	8,025,276	△ 133,371
	給食費	3,353,861	3,069,452	284,409
	保健衛生費	389,395	400,653	△ 11,258
	医療費	21,260	1,000	20,260
	保育材料費	548,932	392,877	156,055
	水道光熱費	1,413,043	1,735,204	△ 322,161
	燃料費	75,562	163,550	△ 87,988
	消耗器具備品費	228,975	359,416	△ 130,441
	保険料	322,600	322,150	450
	賃借料	1,460,039	1,429,906	30,133
	車輛費	58,259	151,068	△ 92,809
	雑費	19,979		19,979
	事務費	2,893,981	4,101,965	△ 1,207,984
	福利厚生費	485,052	445,901	39,151
	旅費交通費	17,380	28,340	△ 10,960
	研修研究費	84,100	44,880	39,220
	事務消耗品費	39,582	35,531	4,051
	印刷製本費		63,250	△ 63,250
	修繕費	422,693	1,678,117	△ 1,255,424
	通信運搬費	135,816	139,387	△ 3,571
	会議費	50,024	56,796	△ 6,772
	業務委託費	529,362	485,912	43,450
	手数料	50,438	39,269	11,169
	保険料	378,643	405,012	△ 26,369
	賃借料	46,200	46,200	
	土地・建物賃借料	16,990	16,990	
	租税公課	58,600	60,400	△ 1,800
	保守料	384,780	384,780	
渉外費	16,500		16,500	
諸会費	158,600	160,800	△ 2,200	
雑費	19,221	10,400	8,821	
減価償却費	3,182,963	3,058,109	124,854	
減価償却費	3,182,963	3,058,109	124,854	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,435,270	△ 1,411,934	△ 23,336	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,435,270	△ 1,411,934	△ 23,336	
サービス活動費用計(2)	93,253,819	93,782,906	△ 529,087	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 904,349	△ 6,077,804	5,173,455	

月影保育園拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	794	810	△ 16
		受取利息配当金収益	794	810	△ 16
		その他のサービス活動外収益	777,600	731,200	46,400
		利用者等外給食収益	672,000	696,200	△ 24,200
		雑収益	105,600	35,000	70,600
	サービス活動外収益計(4)		778,394	732,010	46,384
	費用	その他のサービス活動外費用	751,941	972,210	△ 220,269
		利用者等外給食費	672,000	696,200	△ 24,200
		雑損失	79,941	276,010	△ 196,069
		サービス活動外費用計(5)	751,941	972,210	△ 220,269
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		26,453	△ 240,200	266,653	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 877,896	△ 6,318,004	5,440,108	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	175,000		175,000
		施設整備等補助金収益	175,000		175,000
		特別収益計(8)	175,000	0	175,000
	費用	固定資産売却損・処分損	2	2	
		器具及び備品売却損・処分損	2	2	
		国庫補助金等特別積立金積立額	175,000		175,000
		国庫補助金等特別積立金積立額	175,000		175,000
		特別費用計(9)	175,002	2	175,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 2	△ 2	0
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 877,898	△ 6,318,006	5,440,108
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		2,885,433	6,203,439	△ 3,318,006
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		2,007,535	△ 114,567	2,122,102
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	5,000,000	△ 5,000,000
	人件費積立金取崩額			5,000,000	△ 5,000,000
	その他の積立金積立額(16)		0	2,000,000	△ 2,000,000
	人件費積立金積立額			2,000,000	△ 2,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		2,007,535	2,885,433	△ 877,898	

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。

※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。